

# 都筑区 区民文化センターニュース 第4号

発行：平成 29 年 11 月 29 日

センター北駅前の中川中央一丁目 9 番 1、2 に、区の文化活動拠点としての「区民文化センター」を整備する予定です。現在「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会」を開催し、区民文化センターに求められる機能や施設構成、施設運営の方向性などの検討を行っています。

## 〔10月2日に、第3回委員会を開催しました〕

事務局から、9月10日に開催した「第2回 区民文化センターについて考えるアイデアミーティング」の開催報告を行い、その他、FAX やメールなどで寄せられているご意見等について情報提供しました。

その後、第2回委員会での議論を踏まえながら、横浜市都筑区における区民文化センター基本構想のコンセプト（方針）、施設の運営、施設の構成などについて意見交換を行いました。

## ◆都筑区の区民文化センターのミッションと、ミッションの実現に向けて重要な方針について

第2回委員会で、委員の皆様から出された「区民中心に文化を生み出し・創り上げつなげていく喜びを大切に」「自由度の高い施設、誰でも来ることのできる場に」といった意見から、下記の「ミッション」を掲げました。

都筑区の区民文化センターの **ミッション（目指すこと）**

### 「都筑に根差した個性ある文化の創造」

- ① 文化に触れる機会を、一人でも多くの区民に提供します
- ② 地域独自の文化や活動、新しい価値や表現を生み出すきっかけをつくります
- ③ 心の充実が得られるまちになるよう、区民と一緒に取り組みます
- ④ 都筑の新たな魅力をつくります

第3回委員会では「ミッション」の実現に向けて重要な方針を議論し、下記のとおり掲げることとしました。

都筑区の区民文化センターの **ミッションの実現に向けて重要な方針**

### 「多様性に対応できる、柔軟性を大切にされた施設」

#### その1 文化事業の提供・展開 の重要な方針

区民文化センターに期待される **6つの基本的役割**を担う、区民に最も身近な「地域の文化芸術活動の拠点」として、区民に多様な文化事業を提供し、展開していきます。

6つの基本的役割

- ★ 区民に芸術文化に触れる機会を提供すること（自主事業）
- ★ 地域のネットワーク形成に寄与すること（文化的commons）
- ★ 地域文化を支える人材育成を担うこと（次世代育成、ボランティア等）
- ★ 様々な区民の社会参加の機会をつくること（ソーシャル・インクルージョン）
- ★ 文化団体・文化活動をする人の支援
- ★ 文化活動のために施設を提供すること（貸館）

下記の内容は、第3回委員会でいただいたご意見を参考に、第3回委員会資料の内容を整理したものです。

## その2 施設運営・管理 の重要な方針

区民の個性を尊重し、区民の多様で、多彩な活動に呼応し、区民の誰もが利用しやすい運営・管理を行います。→運営・管理体制をつくるための考え方を5本の柱にまとめました。柱の中には「みなきたウォーク」「歴史博物館」「都筑民家園」などの周辺施設との連携・協働した運営という考え方も含まれています。

運営・管理体制をつくるための考え方

- (1) 区民主体の仕組みづくり … 区民が利用しやすい運営方法の構築、誰もが鑑賞できる環境の確保、区民とつながれる仕組みづくりなど
- (2) センター機能としての役割の発揮 … 様々な情報の収集・提供など
- (3) 専門人材の配置と人材育成 … 区民への専門的なアドバイス・支援など
- (4) 安心・安全の確保 … 安全な施設利用への配慮・ルールづくりなど
- (5) 公共施設としての役割の発揮 … すべての区民を優しく受け入れる、公平な施設提供など

## その3 施設構成 の重要な方針

区民の多様で、多彩な活動に対応できるよう、柔軟性のある施設の活用ができる仕様とします。また、子どもを含むすべての利用者が安心、安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリー化、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）に配慮するとともに、ユニバーサルデザインの視点、多言語による表示を取り入れます。→使いやすく、柔軟性のある施設をつくるための考え方をまとめました。

使いやすく、柔軟性のある施設をつくるための考え方

- ホール、リハーサル室（音楽ルーム）、ギャラリーは専門性の高い仕様とする一方で、リハーサル室（音楽ルーム）、ギャラリー、会議室などは音楽、ダンス、展示、映像発表など多目的な用途で使用できるよう設備面で工夫を行います。
- 「みなきたウォーク」「歴史博物館」「都筑民家園」など周辺の施設や環境とつながりやすい空間づくりを行います。 など

※答申（たたき台）の詳細内容は、下記ホームページに掲載しています。

## ◆委員から出された主な意見

- アイデアミーティングでは「みなきたウォーク」と区民文化センターのエントランスの関係が非常に大きく扱われていて、一つのポイントだろうと思う／「ここに区民文化センターがある」と分かる雰囲気のある建物外観がよい
- 運営にかかわりたいという区民の想いの強さが「都筑らしさ」の一つではないかと感じる。区民が運営にかかわることのできる仕組みづくりについて、答申に盛り込んだ方がよい
- 各部屋の使い方の柔らかさ（多様性）に、都筑の区民文化センターの特徴が出てくるのではと感じている
- 一般的には、客席数に対して大きく間口と奥行きが同等の舞台面を実現できれば一つの特色になる／舞台面が広ければ、お客様に舞台面上がってもらうプログラムや様々なパフォーマンスなどに使える
- 区民の皆様がどんな暮らしを望んでいるかを念頭に「まちなかにある文化施設」に求める条件を盛り込むべき

## 〔11月28日に、第4回委員会を開催しました〕

予定していた4回全ての委員会を終了しました。確定した答申の概要について、次号のニュースでお知らせします。

※答申は確定後、市に提出されます（下記ホームページにも掲載します）。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

## 多くのアイデア・ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました！

第1回委員会開催以降、区民の皆様からは、「区民文化センターについて考えるアイデアミーティング」において、また、文書（FAX・Eメール・郵便）にて、たくさんの方の区民文化センターについてのアイデア・ご意見等をお寄せいただきました。ご意見等は委員会の進行にあたり参考とさせていただきます。改めてお礼申し上げます。